

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

1. 調査対象

	対象学校数	児童生徒数
小学校(第5学年)	340校	約17,500人
中学校(第2学年)	191校	約18,000人

※調査実施期間

平成27年4月から7月末までの期間

※学校数、児童生徒数は特別支援学校を含んだ数。

2. 実技に関する調査

(1) 体力合計点

〈小学校〉

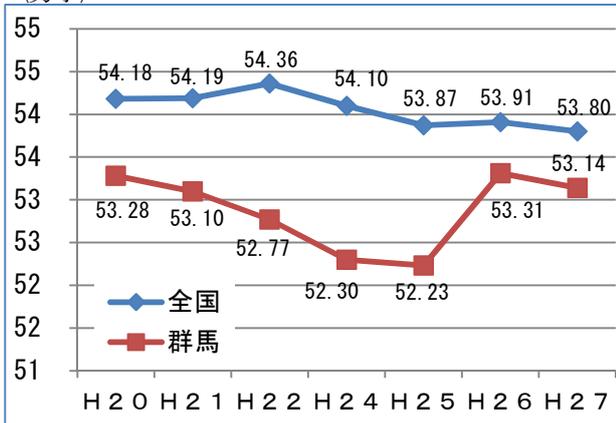
		27年度	全国比較
男子	本県	53.14	-0.66
	全国	53.80	
女子	本県	54.70	-0.48
	全国	55.18	

〈中学校〉

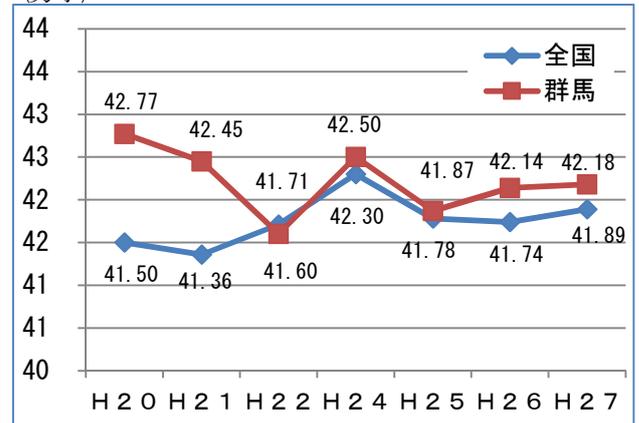
		27年度	全国比較
男子	本県	42.18	+0.29
	全国	41.89	
女子	本県	50.10	+1.02
	全国	49.08	

【体力合計点の推移】

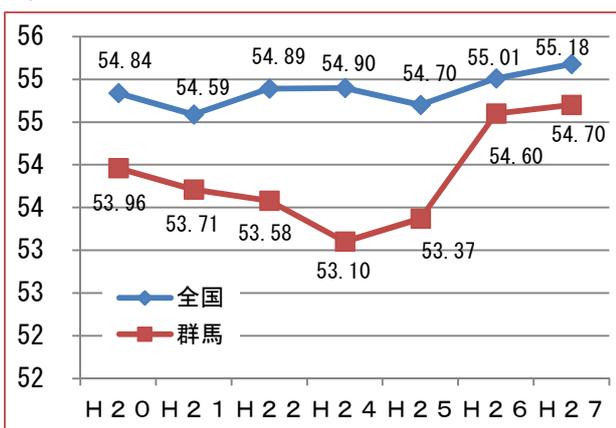
〈男子〉



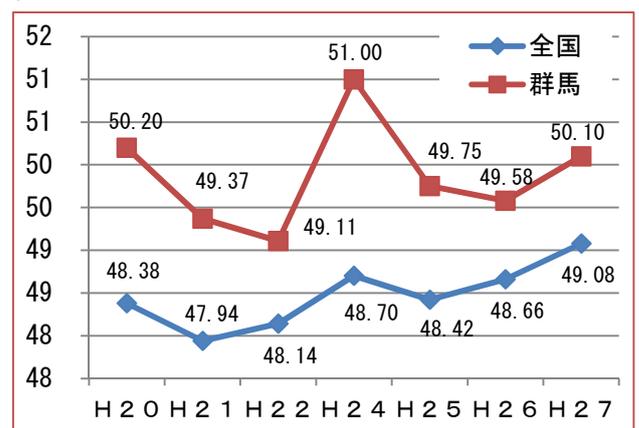
〈男子〉



〈女子〉



〈女子〉



〈傾向〉

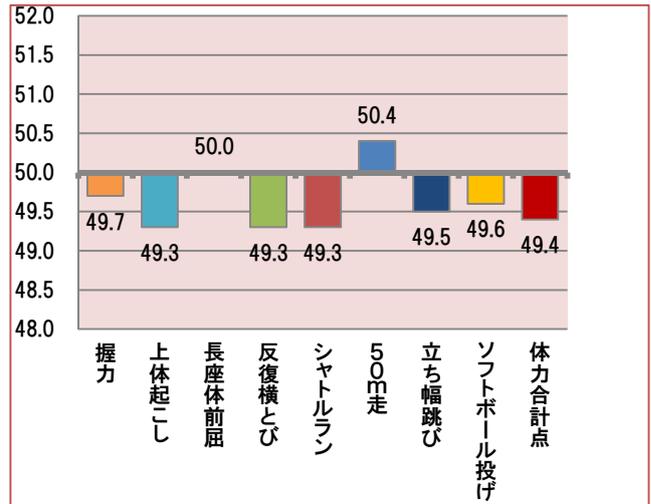
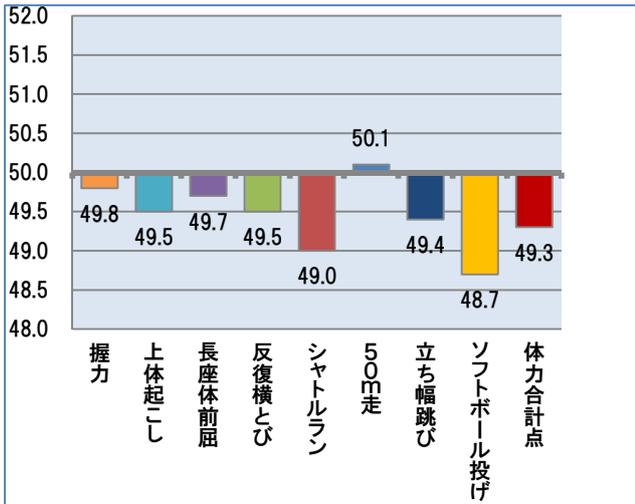
- ①小学校においては、昨年度と比較し男女共はほとんど差がなかった。また、全国平均値と比較した場合、男子はわずかに低く、女子はほとんど差が見られなかった。昨年度、体力合計点が大幅に向上したがその傾向を維持していると考えられる。なお、女子については、本県として調査開始以来の最高値を示した。
- ①中学校においては、男女共、体力合計点が全国を上回る傾向は継続している。昨年度と比較すると、男子はほとんど差がなく、女子はわずかに上回った。

(2) 各項目の結果

〈小学校〉

		握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (回)	シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び (cm)	ボール投 げ (m)
男子	本県	16.38	19.30	32.79	41.19	49.60	9.37	149.94	21.50
	全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52
女子	本県	15.93	18.04	37.40	39.08	39.57	9.59	143.84	13.56
	全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77

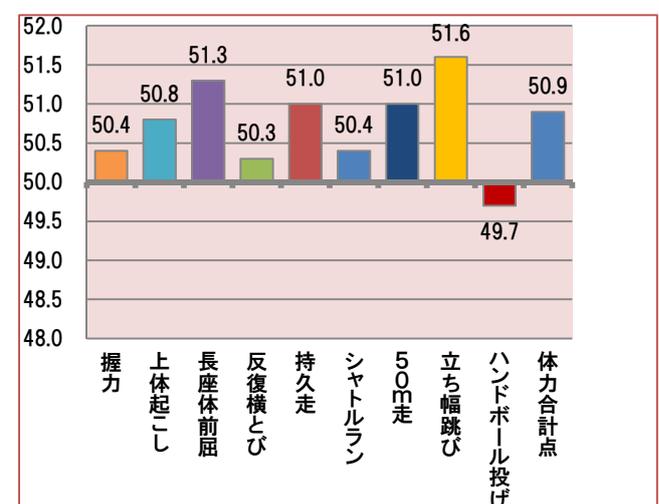
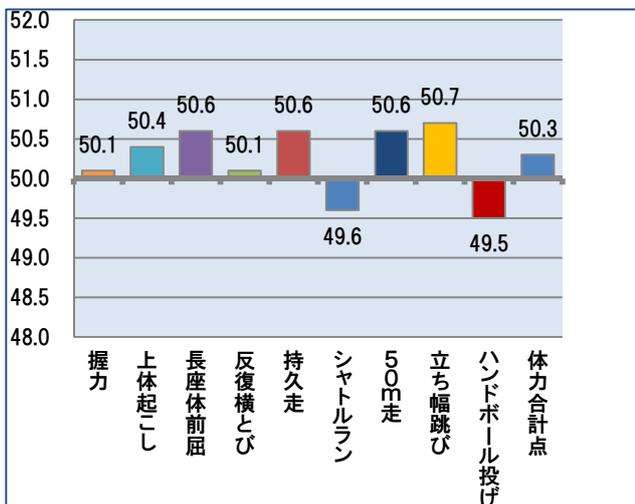
全国平均を50としたときのTスコア



〈中学校〉

		握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (回)	持久走 (秒)	シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び (cm)	ボール投 げ (m)
男子	本県	28.98	27.67	43.73	51.67	388.85	84.68	7.96	196.04	20.39
	全国	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65
女子	本県	23.88	23.70	46.83	46.27	285.50	58.91	8.76	171.18	12.71
	全国	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83

全国平均を50としたときのTスコア



〈各項目における傾向〉

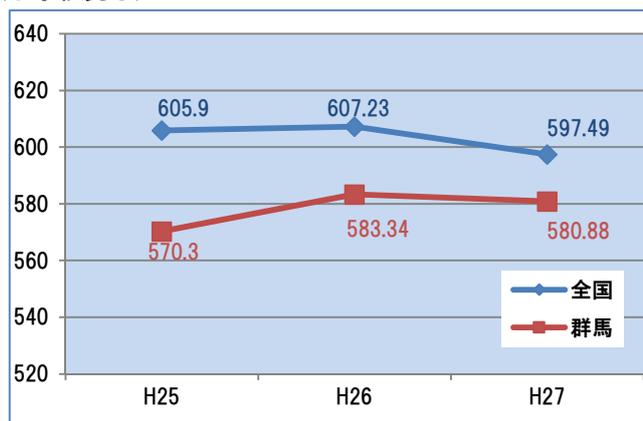
- ①小・中学校の男女共、ボール投げが全国平均を下回っている状況が続いている。
- ②小学校においては、多くの項目で全国平均を下回っているが、上体起こし、長座体前屈、50m走などでは、全国平均との差が縮まる、または追いついてきている。反対に、男女の立ち幅跳び、男子のボール投げでは全国平均との差がやや広がった。
- ③中学校においては、多くの項目で全国を上回っている。前年度と比較した場合、立ち幅跳びや持久走では、数値が向上した。

3. 児童生徒質問紙調査

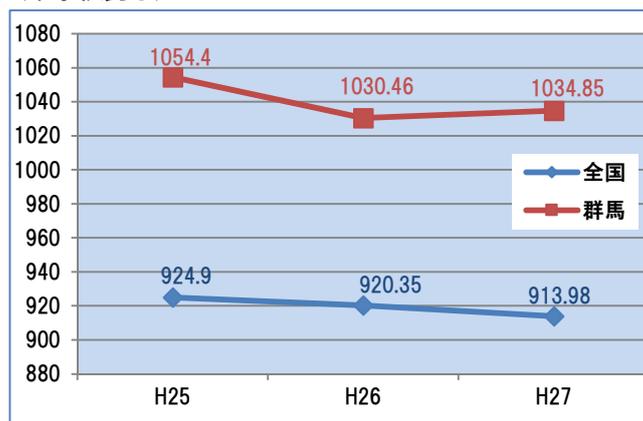
〈全国と比較したときの本県の特徴〉

体育の授業時間以外での運動やスポーツの時間について（1週間の総運動時間）

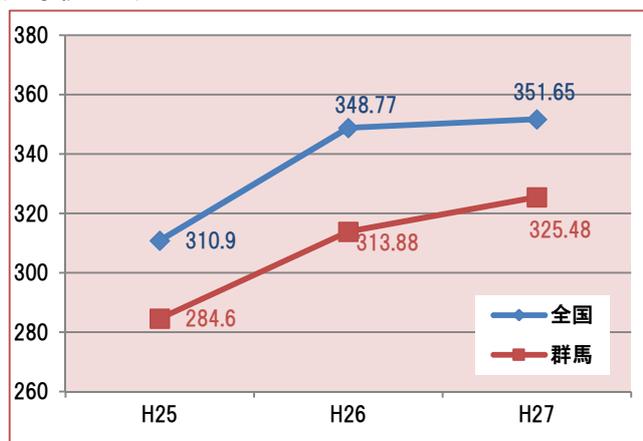
（小学校男子）



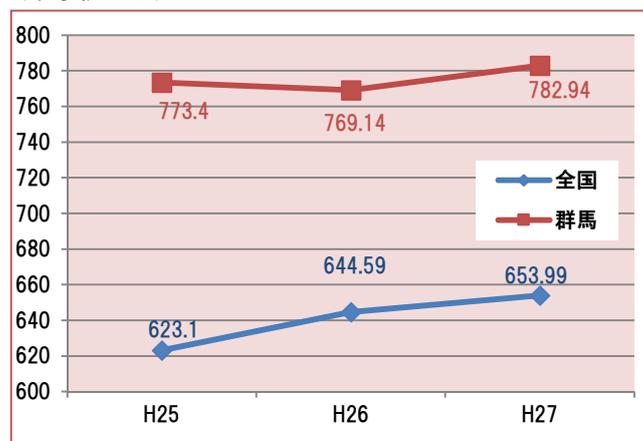
（中学校男子）



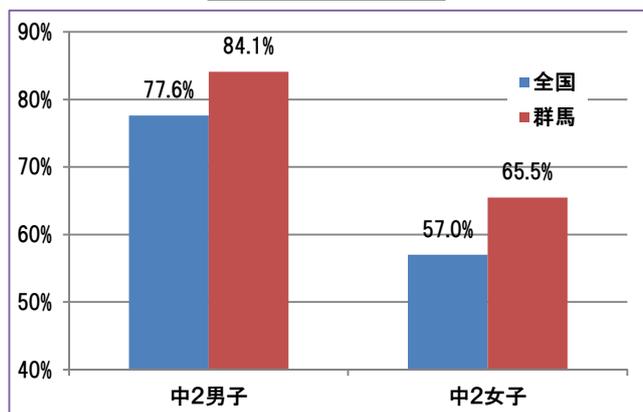
（小学校女子）



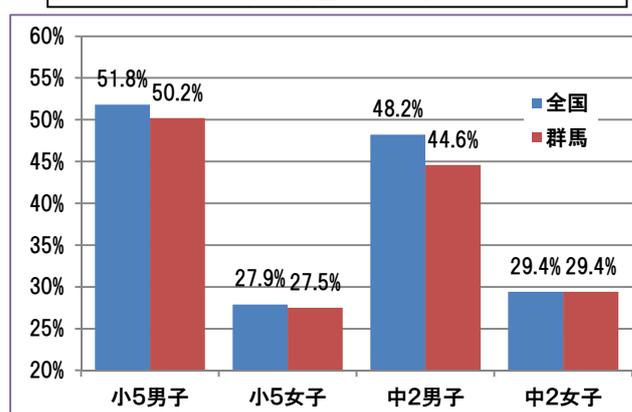
（中学校女子）



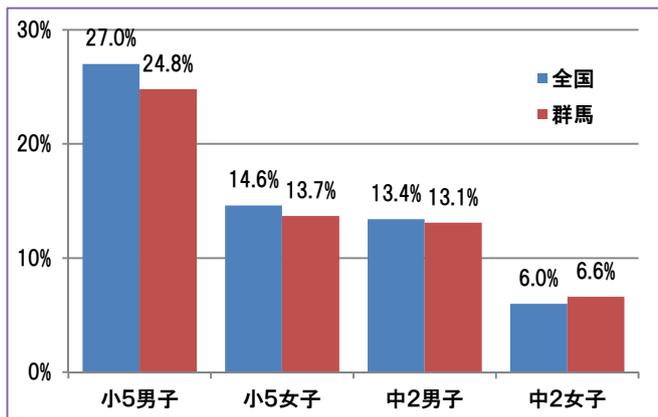
運動部への入部率



放課後や休日に投げる運動をすることについて



自分の体力に自信のある児童生徒について

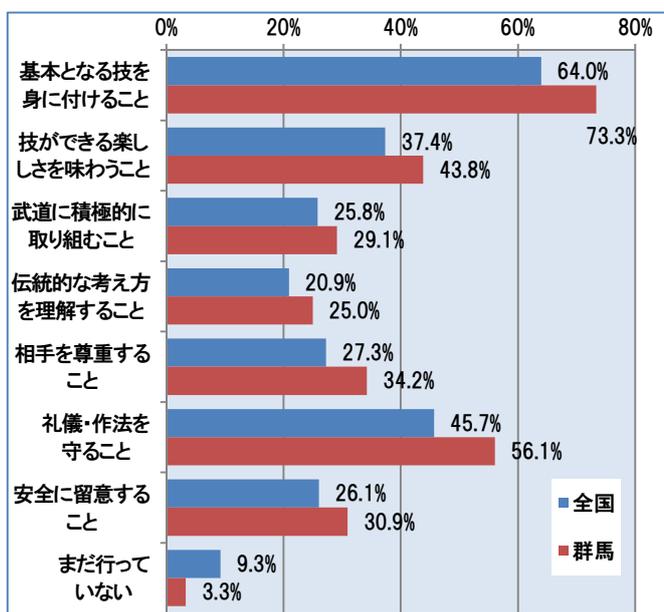


○小学校においては、体育の授業時間以外での運動やスポーツの時間が短く、中学校では長い傾向が見られた。また、中学校においては、運動部の入部率が高い傾向が継続している。

○小学校においては、自分の体力について「体力に自信がある」と応えている児童の割合が低かった。

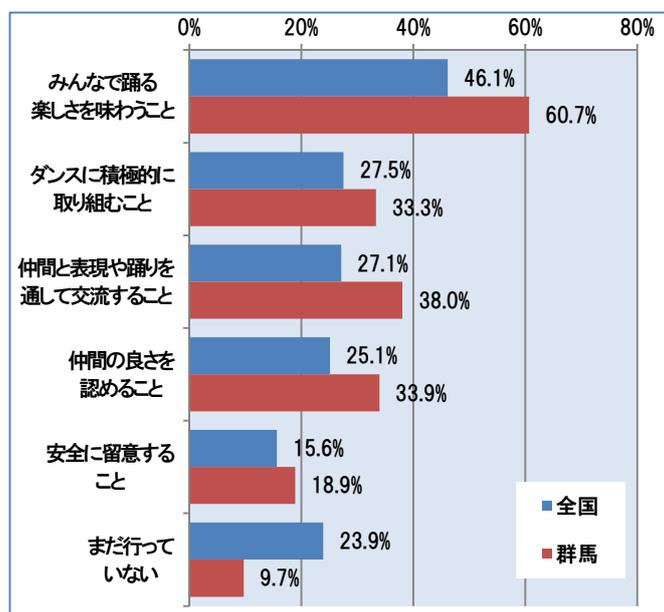
武道の授業において「できたこと」について

(中学男子)

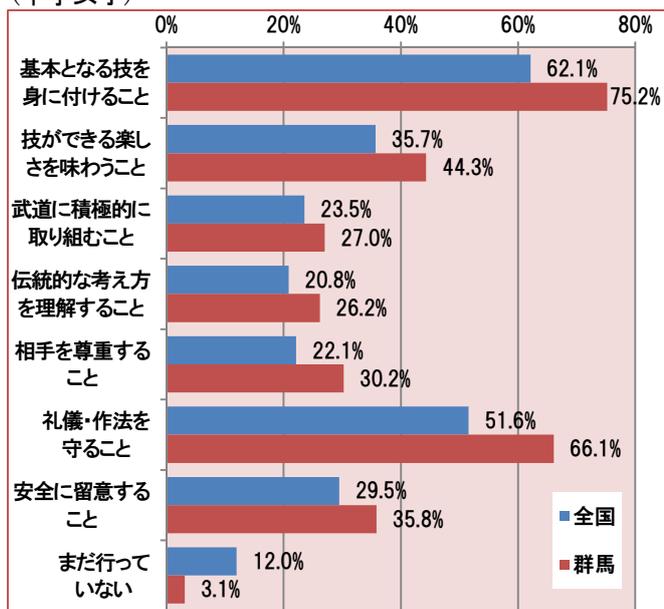


ダンスの授業において「できたこと」について

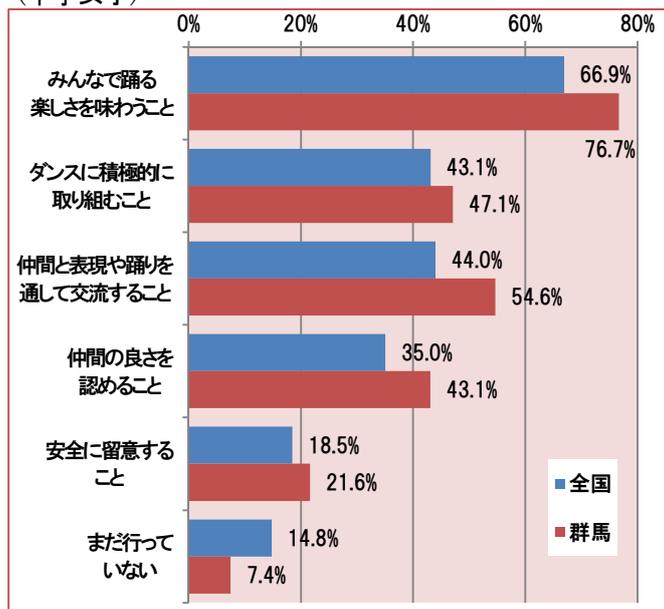
(中学男子)



(中学女子)



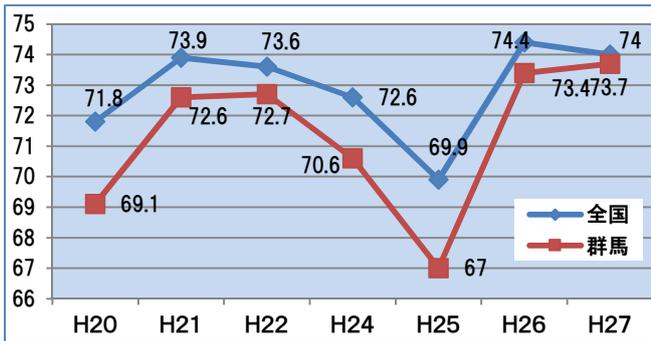
(中学女子)



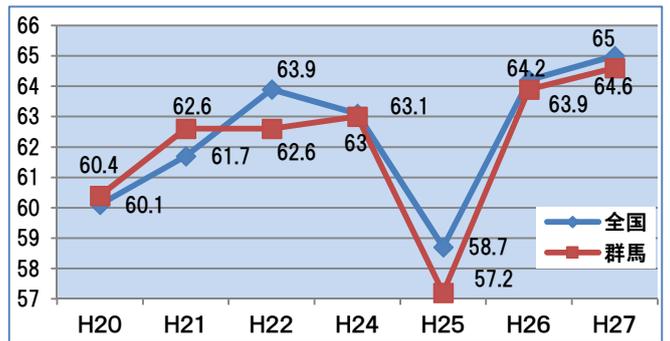
○中学校においては、武道やダンスの授業において、生徒自身が「できた」と捉えている内容が多かった。

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか

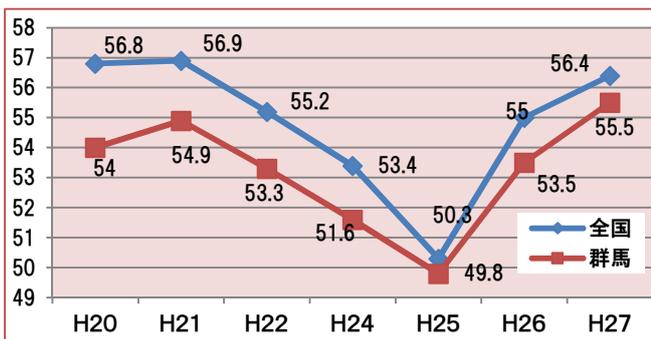
(小学校男子)



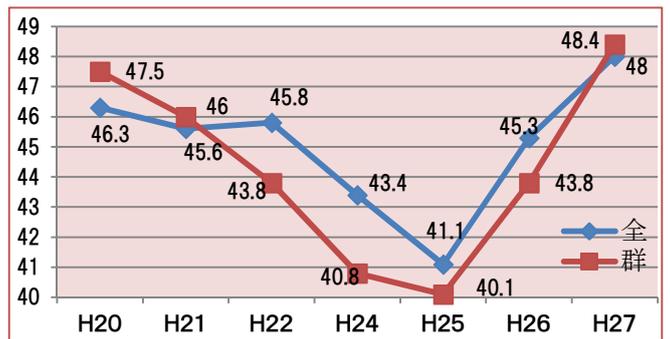
(中学校男子)



(小学校女子)



(中学校女子)



○「運動が好き」と答えている児童生徒が増えており、小・中学校の男女共、調査開始以来の最高値を更新した。

体格調査の結果から

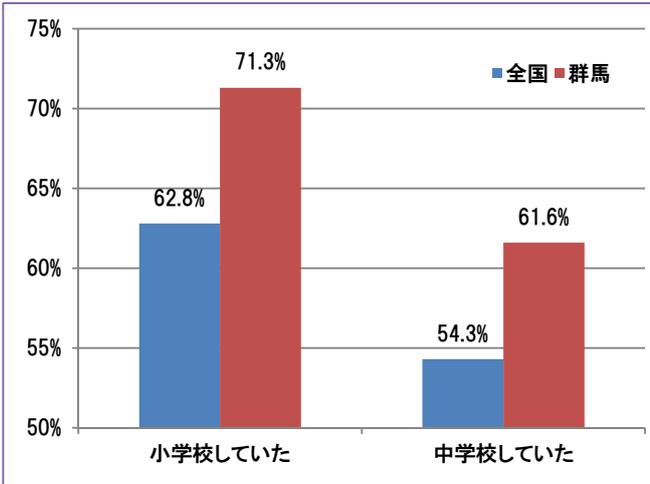


○肥満傾向の児童・生徒の出現率は、全国平均と比較するとやや高い傾向が継続しているものの、昨年度と比較するとわずかに減少している。

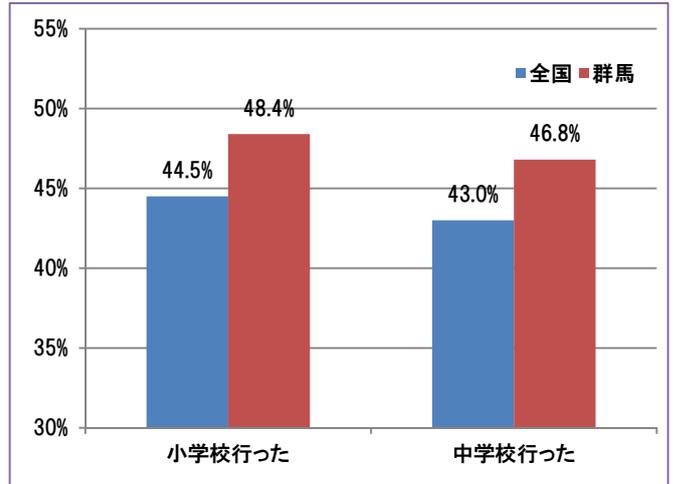
4. 学校質問紙調査

〈全国と比較したときの本県の特徴〉

体力・運動能力向上の学校全体としての目標設定について

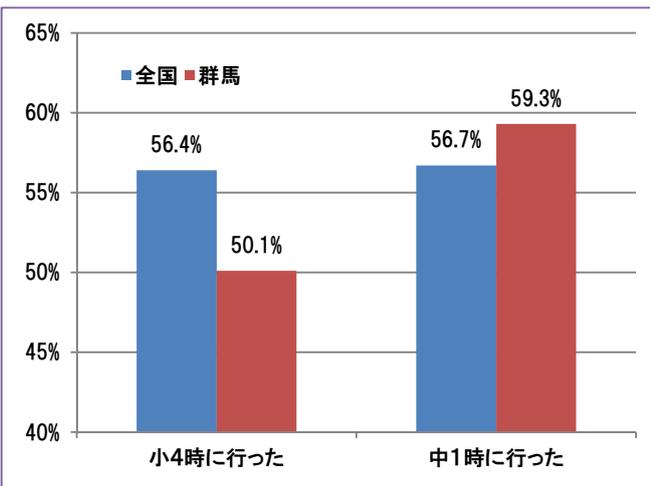


調査結果を踏まえた授業の工夫・改善の取組について

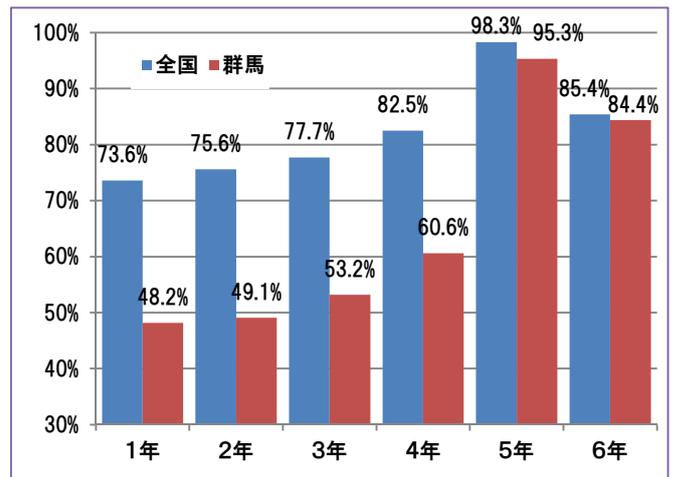


- 小学校・中学校とも、学校全体で、体力・運動能力向上のための目標を設定している学校の割合が高かった。
- 小学校・中学校とも調査結果を踏まえた授業の工夫・改善を行う学校の割合が高かった。

体力・運動能力向上の学年としての目標設定について



新体力テストの実施率 (小学校)



- 小学校においては、第4学年における体力向上に係る取組、目標設定、学校外での運動実施状況の把握の割合が低かった。中学校は反対に高かった。
- 小学校1年生から4年生における新体力テストの実施率が低い傾向が継続している。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果の活用について

群馬県教育委員会健康体育課

本調査は県内全ての小学校及び特別支援学校小学部第5学年、中学校及び特別支援学校中学部第2学年を対象に実施されました。各学校においては、調査結果をもとに児童生徒一人一人の体力・運動能力、運動習慣等の実態や学校及び学級の傾向を把握し、それに基づいた指導を進めていくための資料として活用することが必要です。

なお、調査結果を教育活動の資料として活用するに当たっては、自校の結果を比較・分析することで課題を明確にし、その解決の手立てを考え、学校全体で体力向上に向けた取組（体力向上プラン）を立案・実践するようにしましょう。

◎調査結果の受取から指導の手立ての実践までの流れ

結果の受取

※スポーツ庁指定の業者より学校に直接搬入されます。

- 1 送付された内容物の確認（CD、報告書、記録シート等）
- 2 児童生徒への配布物の確認（個人の結果、記録シート等）

同封のCDを活用することで、自校の結果を分析することができます。
(報告書P. 194以降参照)

実態・傾向の把握

- 1 学校及び学級の平均値と県及び全国平均値との比較・分析
- 2 児童生徒一人一人の調査結果と県及び全国平均値との比較・分析
- 3 個人プロフィールに基づく児童一人一人の体力の分析

・同封の「記録シート」を活用し、児童生徒に自分の体力・運動能力や運動習慣等を把握させ、結果を生かすようにさせましょう。
・同封の「学校用確認シート」を活用し、自校の体力の状況を確認し、取組に生かしましょう。

課題の明確化及び体力向上プランの検証・修正

- 1 学校、学年、学級及び児童生徒一人一人の体力・運動能力の課題の明確化
- 2 学校における体力向上プランに基づく取組の検証・修正
 - ① 課題をもとに、今年度の体力向上プランに基づく取組の検証・修正
 - ② 全教職員の共通理解のもとに、次年度の体力向上プランの構想の立案

指導の手立て

1 「体育」「保健体育」における指導の充実

- ① 実態や課題に対応した運動内容の配列などの年間指導計画の工夫
 - ア 小学校6年間、中学校3年間を見通した指導計画を作成する。
- ② 児童生徒一人一人の明確な運動課題に基づく学習活動の工夫
 - ア 「記録シート」や学校独自で作成した「個人記録表」等を活用し、児童生徒一人一人に結果を把握・分析させることで、自己の体力の把握と課題を明確にする。
 - イ 運動の楽しさや喜びを味わわせるような活動や運動の場を取り入れ、進んで運動に取り組めるような学習活動を行う。

2 体育・健康に関する指導の充実

- ① 学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事等における魅力ある体育・健康に関する活動計画の作成
- ② 遊具や固定施設等の施設・設備の整備と活用法の工夫
- ③ 運動部活動の充実と地域のスポーツクラブ等との連携

3 家庭・地域との連携の推進

- ① 学校だよりや学級通信により、家庭や地域への調査結果の公表
- ② 家庭・地域との連携による日常生活（生活習慣）における健康・体力づくりの推進

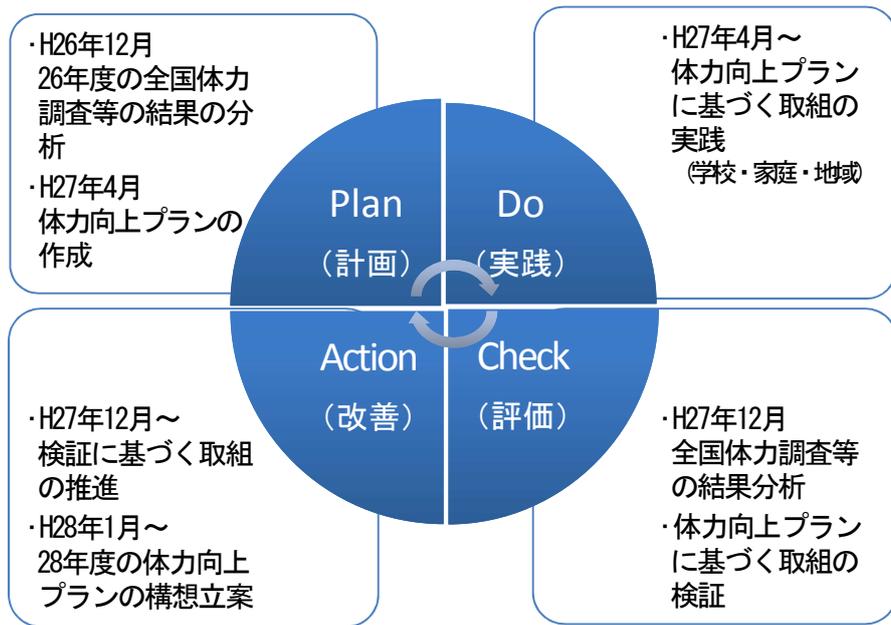


※【中学校】記録シート

◎学校用確認シートを活用し、自校の体力、体力向上への取組を必ず確認してください。

■調査結果を踏まえ、自校の取組を検討しましょう。

(昨年度－今年度－来年度に向けての流れの例)



◎学校用確認シートを活用しましょう。

今年度の調査結果が各学校に送付されるに当たり、自校における体力の状況や体力向上への取組を確認するための確認シートが配布されます。報告書や結果資料CDとともに活用してください。

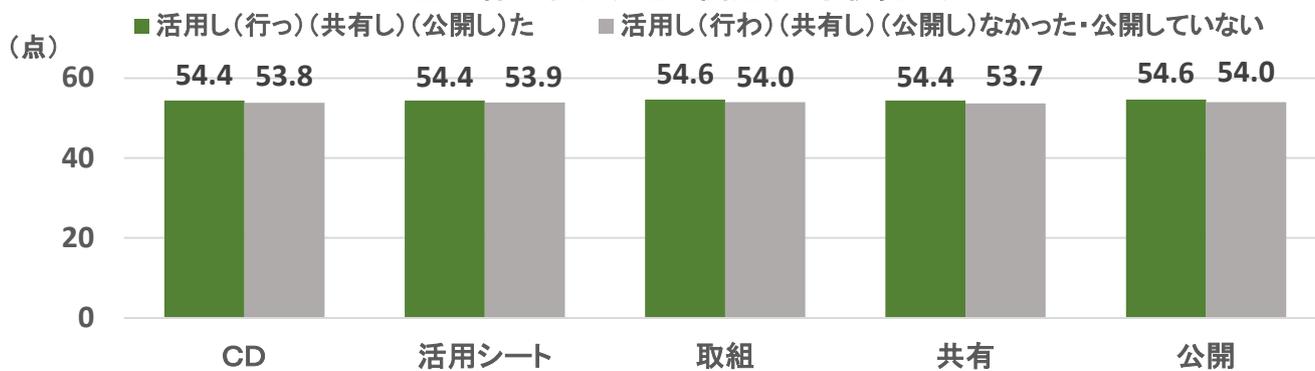


※【小学校】学校用確認シート

■報告書、結果資料CD、事例校の実践等を活用しましょう。

調査結果が届いたら、自校の結果資料CDを活用するとともに、同封の報告書を熟読の上、報告書に掲載されている事例校の取組を参考に自校の取組を検証・改善しましょう。また、学校のホームページや学校だより等により自校の結果を公開することを検討しましょう。

児童の体力合計点との関連(小学校男子)



※報告書P.184(全国の結果)より引用

◎ 本調査は、実施要項により、各教育委員会、学校等で調査結果を活用した取組に努めることが定められています。それぞれにおいて、結果を分析し、施策や指導に生かしていきましょう。

「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領」より抜粋

7. 調査結果の取扱い

(4) 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、本調査の目的を達成するため、以下のような調査結果を活用した取組に努めることとする。

ア 各教育委員会、学校等においては、多面的な分析を行い、自らの子供の体力・運動能力及び子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、子供の体力・運動能力及び子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の改善に取り組むこと。

イ 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な運動習慣の改善等に努めるとともに、自らの体育的活動における指導等の改善に向けて取り組むこと。

ウ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の子供の体力・運動能力及び子供の体力・運動能力等の向上に係る施策の改善に向けた取組を進めること。

【参考例】

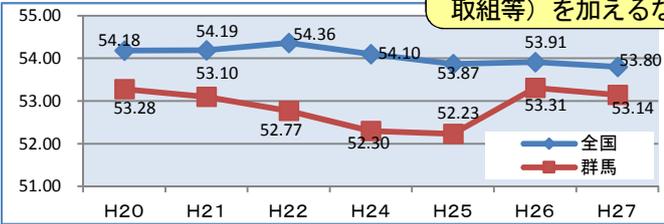
(別添資料)

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

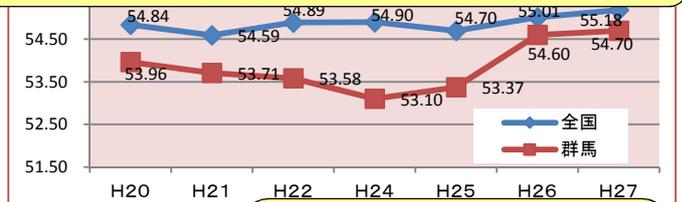
〇〇〇〇立〇〇〇〇学校

全国全ての小学校第5学年、中学校第2学年を対象に行われた全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本校の結果をお知らせします。

体力合計点の推移



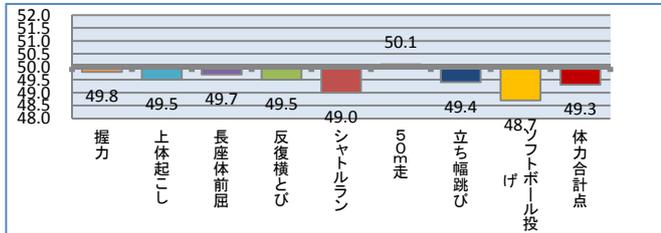
この資料は、今年度の全国と群馬県の結果をもとに作成しています。掲載している項目等を参考に、自校の結果（児童生徒の体力・運動習慣・生活習慣・学校の取組等）を加えるなど、使いやすいよう工夫して活用してください。



■平成20年度より…（結果、原因、改善策…）

全国平均を50としたときの群馬県と全国の比較

【小学校男子】



【小学校女子】

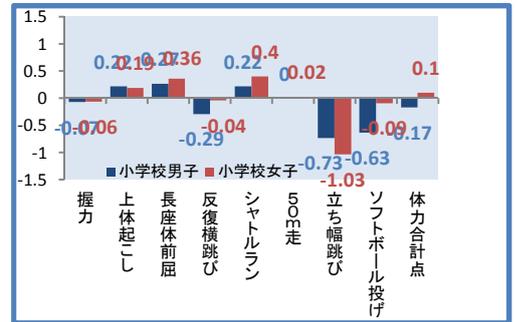


自校の結果を公開するに当たり、「結果」のみを提示するのではなく、その「原因」や「改善策」なども合わせてコメント等により示すようにしましょう。

■〇〇は全国より高いものの…（結果、原因、改善策…）

前年度結果との差（H27平均値－H26平均値）

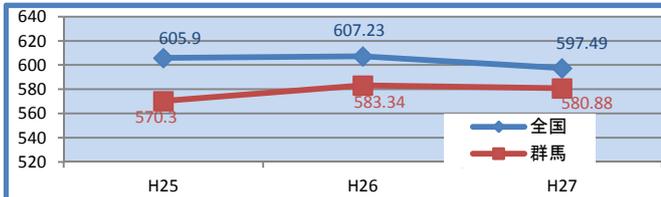
■平成26年度と比較して…（結果、原因、改善策…）



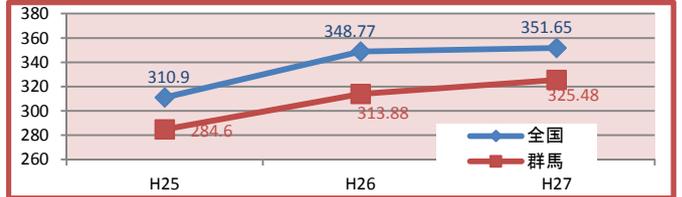
児童生徒質問紙調査の結果から（全国と比較したときの本県の特徴）

体育の授業時間以外での運動やスポーツについて（1週間の総運動時間）

【小学校男子】

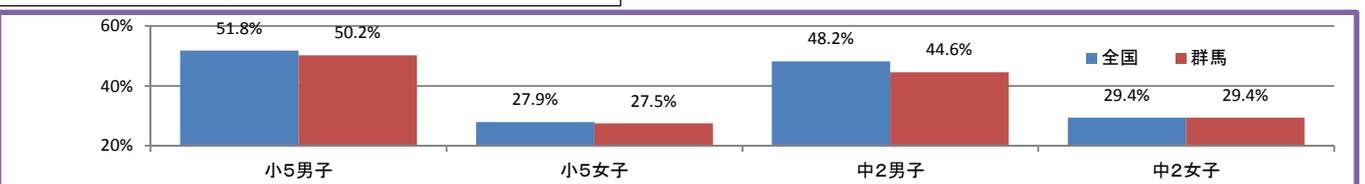


【小学校女子】



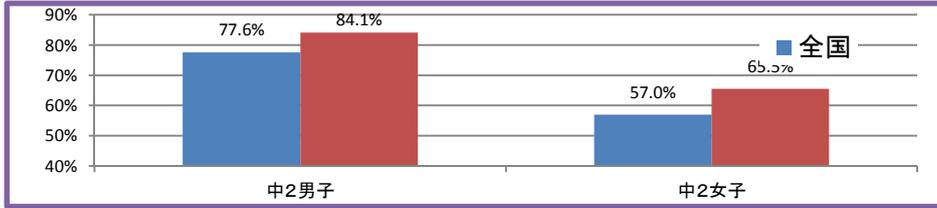
■総運動時間は…（結果、原因、改善策…）

放課後や休日に投げる運動をすることについて



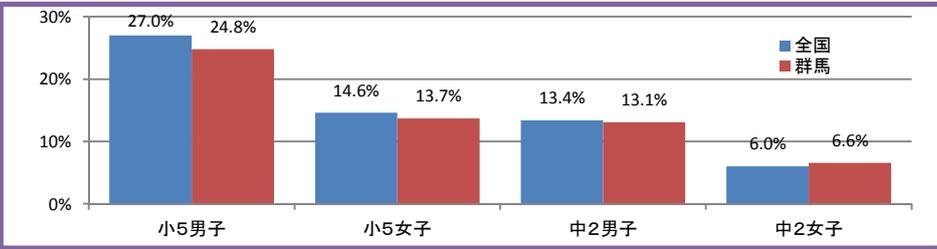
■全国と比較して…

運動部の入部率について（中学校）



■本校では多くの生徒が…
（結果、原因、改善策…）

自分の体力に自信がある児童生徒について



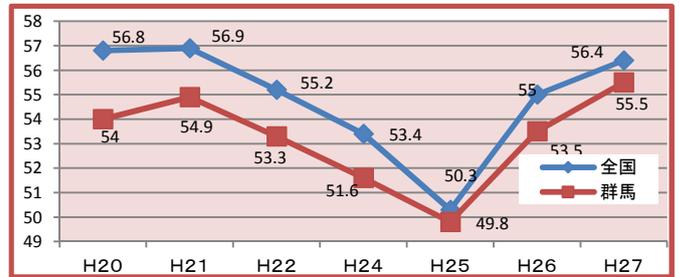
■体力に自信があると…
（結果、原因、改善策…）

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

【小学校男子】



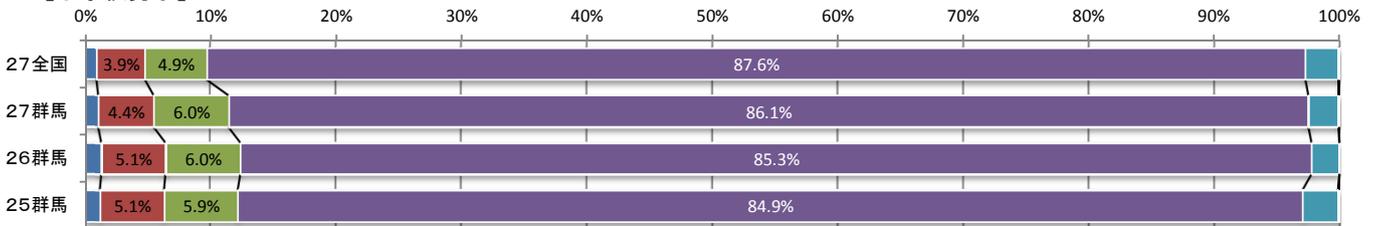
【小学校女子】



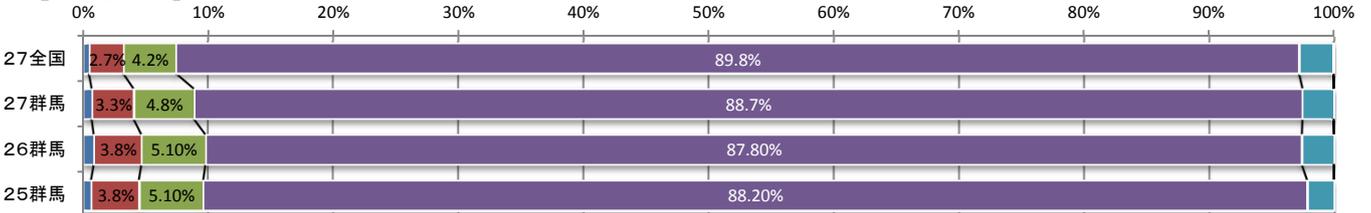
■運動やスポーツをすることが好き…（結果、原因、改善策…）

体格調査の結果から（全国と比較したときの本県の特徴）

【小学校男子】



【小学校女子】



■「正常」の児童の割合は…（結果、原因、改善策…）

【小学校】

- 「記録シート」を参考に、ご家庭でお子さんといろいろな運動や新体力テストを行ってみてください。
- お子さんとともにお子さんの生活習慣を見つめ直して、目標を立ててみてください。

【中学校】

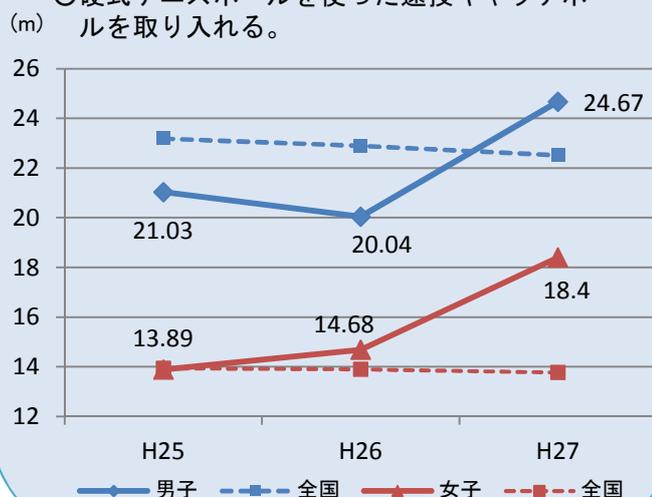
- 「記録シート」を御覧になり、お子さんと新体力テストのことについて話題にしてみてください。
- お子さんとともにお子さんの生活習慣を見つめ直して、目標を立ててみてください。

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ボール投げの記録が高い学校の取組事例

ボール投げについては、投げる機会が減少していたり、投げることそのものの動きの習得が難しかったりすることから、全国的に平均値の低下傾向が続いています。特に、本県においては、小5男女、中2男女共、調査開始以来、全国平均値を常に下回っている状況が継続しています。そのような中、学校全体としての取組により成果を上げている学校もあります。そこで、今年度の調査において、ボール投げの結果の高かった学校の体力向上プランの中から、投力の向上に向けた取組事例を紹介します。

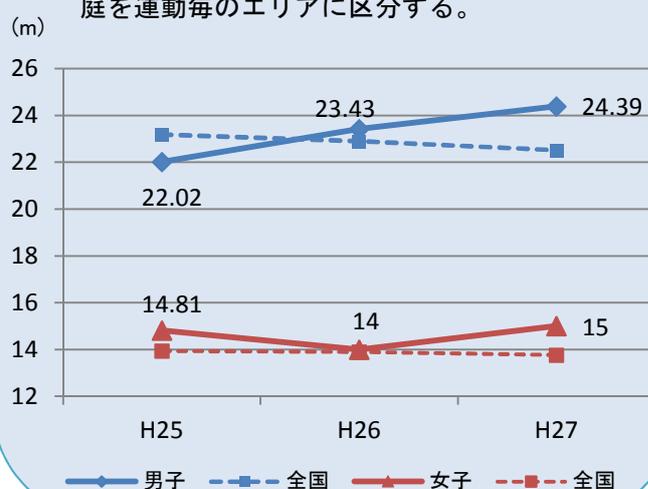
■ A 小学校

- 高学年の投力を高めるために、ベースボール型ゲームの準備の段階で投げ方の指導をどのクラスでも徹底する。
- 硬式テニスボールを使った遠投キャッチボールを取り入れる。



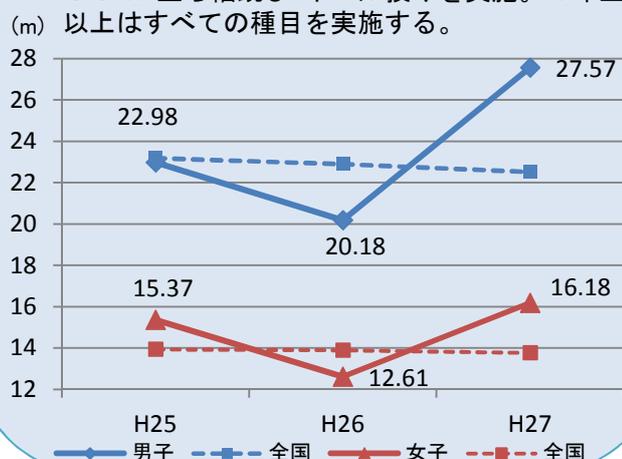
■ B 小学校

- 低学年にはスポンジボール・サッカーボール・長縄を3年生以上にはドッチボール・サッカーボール・長縄を配布する。
- 休み時間に様々な運動に取り組めるよう、校庭を運動毎のエリアに区分する。



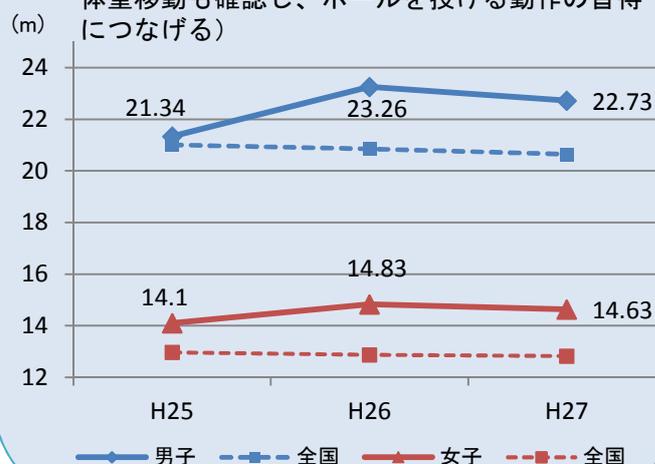
■ C 小学校

- 各学級にボール2個、カラーボール等を置き、運動の機会を増やす。また、スローイングチェック用笛付楕円ボールを活用して、投げる動作の習得を図る。
- 新体カテストの実施について、1年～3年は、50m・立ち幅跳び・ボール投げを実施。4年生以上はすべての種目を実施する。



■ D 中学校

- 球技の導入段階で、ボールを投げる動作の習得を目指して、技術ポイントを明確に示した上で段階的に指導した。(メンコ遊びを通して、構え、肘の高さや動き、腕の払い方、足の位置や体重移動も確認し、ボールを投げる動作の習得につなげる)



ここで紹介した事例は、ボール投げの記録の向上を目指し、体育の授業において「投げる動き」を導入したり、体育の授業以外に児童生徒がボールに触れたりボールを投げたりする機会を意図的に仕組んだりしています。取組事例を参考に、それぞれの学校においてできそうなことから始めてみましょう。

